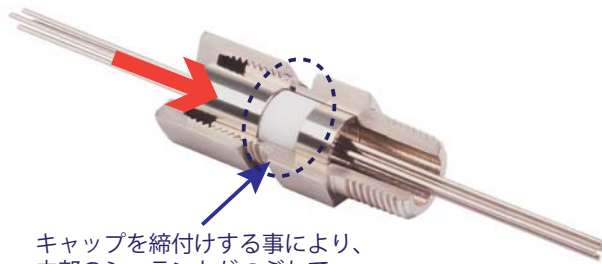
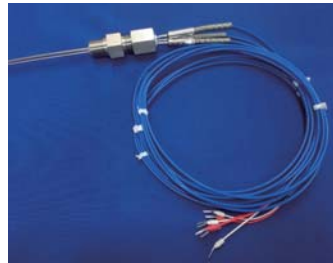


グラウンドフィードスルーについて



キャップを締付けする事により、内部のシーラントがつぶれて、シールする構造です。



使用例) シース熱電対をセット

シーラントの特性についてはこちら↓↓

<http://www.tecsam.co.jp/common/pdf/products/gft/gft007.pdf>

■ グラウンドフィードスルーに使用可能なフローズとは？

グラウンドフィードスルーはプローブ（シース熱電対、電線 etc.）の表面をコンプレッションしてシールする構造の為、プローブの断面に気密がない場合はシールできませんので、ご注意ください。



弊社取扱の標準使用電線はこちら↓↓
http://www.tecsam.co.jp/products/tec_info/pdf/11-3.pdf

より線や同軸線などは、電線断面に気密がなく、グラウンドフィードスルーでは、シールができません。

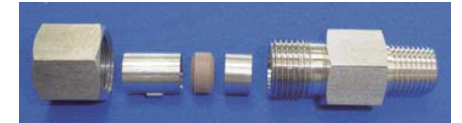
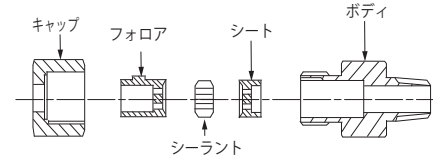
■ シール径の選定について



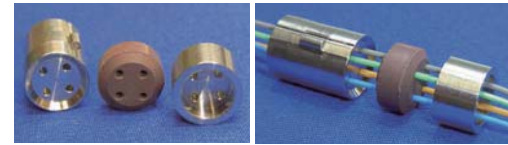
グラウンドフィードスルーのシール径はプローブ径に合わせて、ご選定ください。一つのフィードスルーに異なる径の電線をセットすることも可能です。詳細はお問い合わせください。また、シール径より細いプローブをセットする場合は、ご使用条件によりシール可否が異なりますので、貴社にてテスト使用して頂く事を推奨しています。

■ 電線セッティングについて

[MF シリーズ]



MF シリーズ：MF-1/4"PT-1.0-4-V



① フォロア・シーラント・シートの各ホールに電線を通す。
(電線を通す際は電線が捻じれないようご注意ください。)

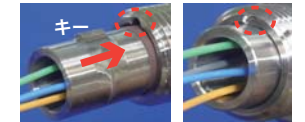


② 電線をセットしたシーラント・フォロア・シートをボディにセット



③ キャップを指定トルクで締付けする。
電線の場合は、80%程度を推奨。

参照) http://www.tecsam.co.jp/products/tec_info/pdf/11-1.pdf



※ ボディにフォロアをセットする際は、必ずキーと溝を合わせてください。



※ かり防止等のため、ボディ、フォロア、キャップに潤滑剤を塗布しています。貴社にて締付けされる場合は、潤滑剤を拭き取らないで下さい。締付けトルクが変わってきます。

[WF シリーズ]

WFシリーズは、フォロア・シート内のセラミックインシュレーターにより、プローブと本体が接触しない構造のため、裸線のシールが可能です。

